

NEWS RELEASE

 FA システム事業拡大に向けた開発・設計環境を整備
名古屋製作所「第二 FA 開発センター」建設

三菱電機株式会社は、名古屋製作所（愛知県名古屋市）に FA（ファクトリーオートメーション）機器の開発・設計棟「第二 FA 開発センター」を新たに建設しますのでお知らせします。投資額は約 100 億円で 2017 年 6 月から順次稼働し、FA システム事業の規模拡大に対応した開発・設計環境の整備を進めていきます。



第二 FA 開発センターのイメージ

FA 開発センターの概要

所在地	愛知県名古屋市東区矢田南五丁目 1 番 14 号（名古屋製作所内）
建築面積	約 4,400 m ² （延床面積 約 31,000 m ² ）
構造	鉄骨造、地上 7 階建
主な建物用途	FA 機器の開発・設計・評価、顧客との共同開発ルーム
竣工・稼働開始予定	2017 年 6 月竣工・順次稼働
投資額	約 100 億円
環境・省エネ対策	太陽光発電システム、LED 照明、 「e-F@ctory」を導入したエネルギー管理システム

背景と狙い

近年、製造業では IoT（Internet of Things：モノのインターネット）を活用した生産性・品質の向上への取り組みが加速しています。当社は、名古屋製作所内に新たに第二 FA 開発センターを建設し、次世代のものづくりを実現する統合ソリューション「e-F@ctory（イーファクトリー）」の開発・設計環境を整備することで、FA 機器（シーケンサ、表示器、サーボ、インバーターなど）の製品力強化および e-F@ctory Alliance（イーファクトリー アライアンス）におけるパートナー製品も含めた相互の連携強化を図ります。

また、お客様と当社 FA 機器の動作検証や今後の製品開発を検討する共同開発ルームを開設し、一体となって生産性・収益性向上にむけた課題解決に取り組むなど、さらなる顧客満足度の向上と FA システム事業の拡大を目指します。